

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年9月9日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年9月9日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【淡水化装置(RO3)内における漏えい検出器の動作について】 免震重要棟において、「水処理設備 淡水化処理設備 漏洩監視装置 異常」警報が発生。 当直員が現場を確認したところ、淡水化装置(RO3)内で漏えい検出器の動作を確認。 検出器回りには水がないことから、結露により警報が発生したものと推定。 当該検出器が使用不可でも他の検出器により漏えいは検出できるため、漏えい検出機能は問題なし。</p>	GⅢ	9月6日
2	<p>【5/6号機港湾入口ゲートでの車両と移動式ガードレールの接触について】 作業員が5/6号機港湾入口ゲートを車両で通過する際、移動式ガードレールに車両が接触し、損傷した箇所からラジエータ液が漏れた。 漏れたラジエータ液は回収実施済。損傷した車両については構外へ搬出し修理予定。 今後、原因調査及び対応を検討予定。</p>	GⅢ	9月4日